

授業科目名	国際統計分類Ⅱ		科目コード	201039		
開講クラス	診療情報管理士科	コース	コース	学 年	3年	
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)			
	実務経験内容 病院勤務 診療情報管理士指導者 診療情報管理士の実務経験を活かし、ICD-10の各章に沿った疾病分類体系を学習し、正しい分類ができるよう理解させる授業を行う					
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1単位		
使 用 テキスト1	書 名	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
使 用 テキスト2	書 名	診療情報管理士教育問題集 専門課程編				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習					
<授業の目的・目標> ・ 人体構造（解剖整理）、骨、筋肉、関節、皮膚などの疾病医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10の各章に沿った疾病分類体系を理解し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるようになることを目的とする						
<授業の概要・授業方針> ・ 退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する						
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・ 評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%						
<使用問題集・注意事項>						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・ 関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」						

授業科目名	国際統計分類Ⅱ	
回	授業内容	備考
1	国際疾病分類の基本 ①コーディングをはじめるとあって ②ICD-10 (2013年版) 準拠の概説	
2	③「国際疾病分類 (ICD)」編さんの基準とその特徴	
3	④「内容例示表」と「索引表」の使用方法	
4	⑤複数病態分類、複合病態分類及び二重分類	
5	⑥「内容例示表」と「索引表」で用いられる表示記号と符合	
6	⑦用語の定義及び傷病名の構成 ⑧傷病名コード索引方法の解説 ⑨コーディング支援ソフトウェアの利用	
7	各章の疾病分類体系の理解 第Ⅰ章 感染症および寄生虫症 サマリー問題	
8	第Ⅱ章 新生物<腫瘍> サマリー問題	
9	第Ⅲ章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 サマリー問題	
10	第Ⅳ章 内分泌、栄養及び代謝障害 サマリー問題	
11	第Ⅴ章 精神及び行動の障害 サマリー問題	
12	第Ⅵ章 神経系の疾患 サマリー問題	
13	第Ⅶ章 眼及び付属器の疾患 サマリー問題	
14	第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患 サマリー問題	
15	第Ⅶ章 眼及び付属器の疾患 サマリー問題	
16	第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患 サマリー問題	
17	第Ⅸ章 循環器系の疾患 サマリー問題	
18	第Ⅹ章 呼吸器系の疾患 サマリー問題	
19	第ⅩⅠ章 消化器系の疾患 サマリー問題	
20	第ⅩⅡ章 皮膚及び皮下組織の疾患 サマリー問題	
21	第ⅩⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患 サマリー問題	
22	第ⅩⅣ章 腎尿路生殖器の疾患 サマリー問題	
23	第ⅩⅤ章 妊娠、分娩及び産じょく<褥> サマリー問題	
24	第ⅩⅥ章 周産期に発生した病態 サマリー問題	
25	第ⅩⅦ章 先天奇形、変形及び染色体異常 サマリー問題	
26	第ⅩⅧ章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類 されないもの サマリー問題	
27	第ⅩⅨ章 損傷、中毒及びその他の外因の影響 サマリー問題	
28	第ⅩⅩ章 傷病及び死亡の外因 サマリー問題	
29	第ⅩⅪ章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 サマリー問題	
30	原死因練習問題、サマリー問題	